

“税の作文コンクール”入賞作品

公益社団法人 中野法人会会長賞

【税金は夢や希望を紡いでくれる】

中野区南中野中学校 関戸 大輝 様

納税とは何なのか。それは全国民が国に税金を納めて国の発展、人々の発展に繋げるためのものである。しかしテレビなどの様々な情報を聞くと、税金はただの僕達の生活を縛りつけているように感じてしまう。また親の給料、僕達が買う物などの全てに税がかかっているため不満をもつ人も少なくはないと思う。それでも僕は納税はとても大切なことだと思う。なぜなら税金は僕達の夢や希望を紡いでくれているものだからである。

僕は現在中学三年生で習い事でサッカーをやっている。そして夢はもちろんプロサッカー選手になることだ。サッカーは小学四年生の頃から行なっていて、その時からずっとサッカーが大好きな典型的なサッカー小僧である。しかしそんな僕にもサッカーが嫌になった苦悩の時期があった。それは中学二年生の春である。運動している時に少し腰に違和感を感じていたが、それを無視してサッカー等を、続けていたら、最終的に歩いても痛い状態になり、全治半年以上となった。それまで一切怪我をしてこなかった僕にとっては、あまりにも受け入れ難いものであった。さらにこの怪我はもし完治したとしても再発する可能性が高く、すごく危険だとも言われた。ここで僕はそのまま怪我を恐れながらサッカーをプレーするのだったらいっそのことサッカーを辞めたほうがいいのかも、と本気で考えた。そんな中腰の治療をするために、整骨院に行った。僕は人生で初めて整骨院に行ったが、

そこには、マッサージ室、リハビリ室、電気治療器など色々な物がそろっていた。しかしその驚きよりも、ここに半年以上通うことになった場合どれほどの金額がかかるのかという心配が勝ってしまい、治療どころでは無かった。なおさらサッカーを辞めるしかないと思った。しかし会計の時なんと金額は無料だった。最高の治療をもらったにも関わらず、無料というのは意味がわからなかったが、後々調べたらそれは国が七割、区が三割負担してくれていたのだと知れた。さらにそれは「税金」によって支払われていたという事実も知ることができた。結局僕はその後、整骨院での治療の甲斐あり、四ヶ月で完治することができた。また現在も整骨院に行っていて未だに再発せずに、最高の状態でプレーをすることができている。そして、その間も税金により、治療費を賄ってもらっていた。

僕はこのような経験から税金というのは、人の夢、希望などを本人と一緒に作り上げてくれる本当に素晴らしいものだと思った。もし治療費が賄われていなかったら今のような夢を追いかけている僕はいないのかもしれない。恐らく多くの人が僕のように税金によって助けられた経験があるだろう。税金は誰にでも手を差し伸べてくれ、誰にでも未来への道をつくってくれる。その道を進んでいくのは、今から日本をつくる僕達、若者ではないのだろうか。

本部・部会だより

11月26日『理事会（事業・収支報告並びに今後の活動：新年会の中止等）＝書面決裁による』を開催！

訃 報

中野法人会・参与のお二人が逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げますと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。

萩尾孝之様（第11支部副支部長：㈱都市美工 7月9日） 折原烈男様（第4支部相談役：折原コーヒー㈱ 10月19日）

東法連・青連協及び第4ブロックの活動より



10/13 東法連・青連協ゴルフコンパ
代表で佐野氏参加！



10/20 東法連・青連協・第4ブロックゴルフコンパ



11/11～11/17 キzzaニア東京



11/27 第4ブロックボウリング大会
(中野は第3位)

青年部会独自で“租税教室”を実施！

10月24日（区立江古田小学校6年1・2組(クラス別)）



～ 講師：米持氏・佐野氏



アシスタント：内山氏



～ 最後の挨拶：鳥居氏



～ 松井校長先生と…